

出張講義のご案内

平成21年6月

6年目を迎えたドキュメンテーション学科

われわれドキュメンテーション学科は平成16年（2004年）に設立され、今年度で6年目を迎える新しい学科です。3月には第2期生50名が卒業し、情報サービス産業の専門職をはじめ、事務、販売、福祉関係、企業図書館の司書など多方面で活躍しています。

学科の教育目標

ドキュメンテーションというのは耳慣れない名前だと思います。社会に存在するさまざまな情報を収集・整理し、発信するまでの過程を指す言葉です。文化的に貴重な古典籍資料も、現代社会でネットワーク上に飛び交っている電子データも、あらゆる「情報」を扱える能力を身に付け、社会に貢献できる人材を育成することを教育目標として、情報学・書誌学・図書館学の三分野の教員が学科を構成し、日々教育に携わっています。

出張講義へのお誘い

幅広い学科カリキュラムの中から、2・3年生向けの内容で、40～50分程度を想定してプログラムを用意しました（裏面をご参照ください）。「情報」「国語」または総合的な学習の時間を利用して頂けると幸いです。なお、パソコン等の設備が必要な場合もありますので、それぞれの授業の内容をご確認ください。

学期中はそれぞれの教員の空き時間で対応することになりますが、ご希望の教員の日程がうまく合わない場合でも、できるだけ対処いたしますので、ご相談ください。

担当教員紹介（五十音順）

伊倉史人（いくら・ふみと）准教授 文学修士 書誌学・日本文学

日本古典文学（和歌文学）研究のかたわら、日本古典籍の書誌学的研究を行う。2004年より現職。神田神保町の若手古書店員の勉強会「典遊会」講師。

大矢一志（おおや・かずし）准教授 博士（学術） 情報科学

企業において古典籍のデジタル化や電子出版に携わる。2004年より現職。マークアップ言語による文書処理を専門とし、国際学会でも活躍。

岡田 靖（おかだ・やすし）教授 文学修士 図書館情報学

鶴見大学図書館司書・司書補講習主任として、司書教育に長年携わっている。図書の分類や目録を専門とし、『日本目録規則』の改訂にも携わる。

長塚 隆（ながつか・たかし）教授 農学博士 情報学

日本における商用データベース研究の第一人者として長年企業で活躍。2004年より現職。著作権や情報倫理にも詳しい。

原田智子（はらだ・ともこ）教授 文学修士 図書館情報学

医学情報センターに勤務後、短期大学教授を経て2004年より現職。情報検索のプロが作る研究会「サーチャーの会」の会長。

堀川貴司（ほりかわ・たかし）教授 博士（文学） 書誌学・日本文学

日本古典文学（日本漢文学）研究のかたわら、日本古典籍の書誌学的研究を行う。2004年より現職。『広辞苑』第六版では「書誌」に関する項目の監修を担当した。

元木章博（もとき・あきひろ）准教授 教育学修士 教育情報学

大学や研究所の職員を経て、情報通信会社でネットワークの構築などに活躍。2005年より現職。情報教育の教材やコンピュータを利用した教育方法の開発を研究している。

〈詳しくは、学科ホームページ <http://ccs.tsurumi-u.ac.jp/docu/>をご覧ください

お問い合わせは鶴見大学入試センターまで。

230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3 電話 045-581-1001 (代)

1 手を使ったシミュレーション	大矢一志
サイコロを使った実験とコンピュータによるシミュレーション。手を使って実験をします。ごく簡単な実験ですが、意外と奥深く、さらにコンピュータを使うことで、その可能性は広まってゆきます。情報と数学に関する内容です。	
2 電子化は本当に簡単なのだろうか	大矢一志
携帯電話を使って簡単に写真が撮れます。身の回りの会話もMP3レコーダを使って簡単に録音できます。スキャナを使えば、本も簡単に電子化できます。それでもなぜ電子化は難しいといわれているのでしょうか。そこには人と情報との難しい関係があるのです。	
3 あなたの受け取ったメールは本物ですか？	元木章博
インターネットでよく利用されているサービスである電子メール。色々な人たちが使っています。しかし残念なことに、電子メールを悪用する人がいます。この話では、電子メールの仕組みや最近のメール事情をお話します。	
4 どうしてホームページが見られるの？	元木章博
パソコンや携帯で色々なホームページを見ることが出来ますが、なぜ、ホームページを見ることができるのでしょうか？ 何がお膳立てされていれば、パソコンや携帯がネットワークにつながるのでしょうか？ この話では、インターネットの仕組みや最近のホームページ、インターネット事情をお話します。	
5 現代社会とデータベース	長塚隆
社会の様々な場で、データベースが利用されています。データベースの仕組みを簡単に紹介し、様々な利用例を通じて、社会の中でのデータベース役割を理解します。さらに、今後のデータベースの可能性について考えます。	
6 デジタル情報と著作権	長塚隆
現代はアナログ情報からデジタル情報への大きな転換期に当たっています。どのようなデジタル情報があるのかを紹介し、いくつかの事例を通して、デジタル情報の特徴と著作権のかかわりについて考えます。	
7 昔の本に触れてみよう	堀川貴司 伊倉史人
江戸時代に日本で作られた和綴りの書物の実物に触れて、その大きさ・重さ・手触りを実感してもらいます。昔の本の作り方について、大きさや装訂の意味についてわかりやすく解説します。(本はこちらから持参します)	
8 昔の本を読んでみよう	堀川貴司 伊倉史人
江戸時代に出版された『徒然草』(または『古今和歌集』『源氏物語』など)と手書きで書かれた『徒然草』を読み比べます。くずし字を読み解く作業をしながら、版本と写本の違いを考えていきます。	
9 情報検索入門	原田智子
情報検索の種類や方法について解説をします。そして検索エンジンを使った検索の注意点などについて、実際の検索事例などを紹介しながら説明します。	
10 司書と図書館サービス	原田智子
図書館における司書の仕事を紹介し、図書館で行われているいろいろなサービスについて紹介します。	
11 世界の図書館をめぐる旅	原田智子
ひとくちに図書館といっても、国立図書館、公共図書館、学校図書館などいろいろな図書館があります。世界の図書館を紹介しながら、それぞれの図書館の特徴を解説します。	
12 図書館は無料の貸本屋さんでしょうか	岡田靖
図書館をただの貸本屋さんか、勉強部屋だと思いませんか。図書館はその様な場所ではありません。未知の世界を知るための入り口です。もっと図書館と仲良くしましょう。	
13 図書館での図書の探し方	岡田靖
皆さんは図書館に行った時に目的にあった図書がありましたか。多分無くて、「この図書館はろくな本がない」などと思ったことはありませんか。それは正しい探し方をしていないからなのです。正しい探し方を身につければ図書館は強い見方となってくれます。	